

北国が5年ぶりにプレーオフ進出 ～第32回日本ハンドボールリーグ第14週～

第32回日本ハンドボールリーグ第14週は石川などで男女各3試合が行われ、女子はオムロンがソニーセミコンダクタ九州との首位決戦を制し、10勝目をマークして単独トップに立った。また、広島メイプルレッズに40-20と圧勝した北国銀行がレギュラーシーズンの3位内を確定、オムロン、ソニーとともに2月16・17日に大阪市立住吉スポーツセンターで行われるプレーオフ進出を決めた。男子はプレーオフの残り1枠を争う4位のトヨタ紡織と6位のHondaが、大同特殊鋼、湧永製薬にそれぞれ挑んだが、ともに勝利は奪えなかった。そのほか大崎電気がトヨタ自動車に42-28と順当勝ち、女子・三重バイオレットアイリスはHC名古屋を20-16で退けた。

鹿児島でのソニー-オムロン戦は、前半開始からオムロンのポスト坂元とソニーDFとのゴールエリア際での位置の取り合いに見応えがあり、オムロン・ライトバック藤井の活躍に加え、GK勝田がソニー・田中、長野のノーマークシュートをことごとくセーブし、17-12と5点差で折り返した。後半立ち上がり、ソニーは郭の3連打で2点差まで詰め寄ったが、オムロンもすぐさま佐久川、吉田の連打などで突き放し、9分22-16としてがっちり主導権をキープ。中盤以降もオムロンが効果的に加点、ソニーの反撃を危なげなく退けて単独トップ立った。

プレーオフ進出をかけて広島をホームに迎え撃った北国は、野路良の速攻で先制すると、その後もエース上町のミドル、横嶋のポストなどで着実に得点を加え、石山らで追撃する広島に16-13と3点差をつけて前半終了、GK田代の再三にわたる好守も光った。後半に入っても北国のスピードは衰えるどころかグングンと加速、宮前、上町の速攻でスタートダッシュに成功すると、その後もDFが荒くなって退場者が相次いだ広島を終始圧倒。終わってみれば北国が40-20の大差で5年ぶりのプレーオフ進出を決め、ホームのサポーターと喜びを分かち合った。

佐賀の男子・紡織-大同戦は、両チームのスピードあふれる攻防とGKの好守の応酬で白熱した展開となり、大同が18-17と先行して前半終了。後半に入り李を投入した大同が速いパス回しから武田のミドル、岸川のサイドなどで19分30-25と5点リード。紡織も呉のステップシュート、中畠のサイドなどで27分32-34と2点差まで肉薄したが、このあと村上直が退場した間に大同・浦田、李にダメ押しゴールを打ち込まれ、惜しくも力尽きた。

三重でのHonda-湧永戦は、湧永が14-12と2点リードで後半に突入。後半開始30秒、Hondaは河瀬のポストで1点差とし反撃に期待を抱かせたが、すぐに湧永はリーグ通算500得点となる下川の速攻などで5連続得点を奪い、完全にペースを握った。Hondaもベテラン谷口を投入して立て直しを図ったが、相手に傾いた流れを変えるまでに至らず、33-27と6点差で湧永が白星を握った。

5年ぶりのプレーオフ出場を決めた北国銀行・横嶋



第15週の日程

1月26日（土）愛知・稲沢市総合体育館（名鉄名古屋本線国府宮駅名鉄バス「稲沢市役所」下車徒歩8分）	12:00～（女）H C 名古屋 × 広島メイプルレッズ
	14:00～（女）オムロン × 北国銀行
	16:00～（男）豊田合成 × トヨタ自動車
三重・鈴鹿市立体育館（近鉄名古屋線白子駅バス「体育館前」下車徒歩5分）	14:00～（女）三重バイオレットアイリス × ソニーセミコンダクタ九州
1月27日（日）愛知・ブラザー工業体育館（地下鉄名城線堀田駅徒歩5分）	13:00～（女）北国銀行 × ソニーセミコンダクタ九州
	15:00～（女）H C 名古屋 × オムロン
三重・鈴鹿市立体育館（近鉄名古屋線白子駅バス「体育館前」下車徒歩5分）	14:00～（女）三重バイオレットアイリス × 広島メイプルレッズ



大崎電気・宮崎

大崎が順当勝ち、三重も名古屋を突き放す

大同特殊鋼、湧永製薬と“上位3強”を形成する大崎電気が愛知でトヨタ自動車と対戦。いまや空前の注目を集めている大崎・宮崎ら日本代表のプレーを見ようというファンで館内は超満員となった。試合は2連取スタートした自動車の健闘が光り、前半17-20と先行する大崎に必死に食らいついた。しかし、後半に入るとDFシステムを変えた大崎が立ち上がりの4連打で一気にペースを上げ、GK石原の安定感あるキーピングをからめて19分35-22と大量リード。その後も快調に走り続けた大崎が通算400得点を達成した宮崎の活躍もあり危なげなく12勝目をマークした。

引き続いて行われた女子・HC名古屋-三重バイオレットアイリス戦は、両チーム譲らず9-9で前半を終了。後半に入ると三重がペースをつかみ、コートいっぱいを使ったテンポのいいボール回しから桂のポストシュート、伏見のスタンディングシュートなどで徐々に点差を広げ、14分には15-11と4点リードを奪った。名古屋も20分過ぎから三重・伏見を徹底マークして相手のリズムを崩しにかかる、宮田らの3連打で残り3分2点差まで詰め寄った。しかし、名古屋の追撃もここまで。横川、宮下の連取でラストスパートをかけた三重が20-16で勝利をつかんだ。

次週は愛知、三重で男子1試合、女子6試合が行われ、女子はオムロン-北国銀行、北国銀行-ソニーセミコンダクタ九州戦と上位3チームの直接対決が組まれている。現在はオムロンが単独トップだが、3位の北国が連勝すれば一気に1位浮上となる。プレーオフへのアドバンテージを得るためにも負けられない試合だ。

◆1月19日(土) 男子 三重・鈴鹿市立体育館	◆1月19日(土) 男子 佐賀・神埼中央公園体育館	◆1月19日(土) 女子 石川・金沢市総合体育館
湧永製薬 33 (14-12) 27 Honda 11勝2分1敗 6勝1分7敗	大同特殊鋼 37 (18-17) 33 トヨタ紡織九州 12勝1分2敗 6勝2分6敗	北国銀行 40 (16-13) 20 広島メイプルレッズ 9勝0分3敗 4勝1分7敗
<0/2> K 志 水 鶴 見 4/9 9/17 下 川 柳 本 5/8 2/3 0/1 山 中 河 瀬 6/9 1/3 福 田 竹 田 1/3 1/1 吉 田 横 地 3/9 1/1 2/6 東 伊 藤 0/0 <1/2> K 坪 根 谷 吉 村 K <0/1> 3/6 新 井 村 野 嶋 2/5 1/1 0/0 今 井 吉 井 K K 松 村 野 嶋 2/5 1/1 3/3 古 家 吉 井 K 2/3 渡 辺 四 方 K <1/2> 6/7 山 口 1/2 4/10 東長濱	0/0 松 林 松 野 K <1/2> 2/2 8/11 末 松 中 島 7/10 5/5 浦 田 村上直 2/3 7/9 富 田 植 木 0/1 2/3 地 引 村上秀 6/8 6/10 武 田 呉相民 9/15 0/1 2/3 岸 川 佐久間 0/0 0/0 大 田 鶴 田 0/0 <0/1> K 高 木 海 道 3/4 1/1 李才佑 阪 4/5 0/0 千々波 谷 川 K <0/3> K 東 藤 山 1/1 1/1 2/2 2/5 白元詰 船 木 0/0 0/0 渡久川 泉 原 0/1	<1/1> K 木 澤 高 森 K <1/2> 0/1 内 平 樹 山 0/0 2/4 11/15 上 町 青 戸 1/2 3/3 宮 前 大 前 2/6 4/6 新 田 植 垣 1/4 1/1 3/4 小野澤 坪 井 2/5 0/1 8/10 横 嶋 伊 藤 3/8 3/4 野路良 坂 口 0/0 2/5 武 井 亟 々 K <0/1> <0/1> K 田 代 安 齋 2/6 1/1 野路里 石 山 5/5 1/1 井 上 金鎮順 2/8 1/1 八十島 江 頭 K <1/1> 1/2 若 松 新 城 1/2
2/3 31/57 9 (FPP) 6 24/48 3/4 審判(佐路・佐藤) 観客 461人	4/5 33/47 5 (FPP) 9 32/48 1/1 審判(家永・福島) 観客 426人	2/4 38/53 12 (FPP) 13 19/46 1/2 審判(仲田・植村) 観客 817人

Team Topics

大同特殊鋼 Phoenix



チームを支えるトレーナー

大同特殊鋼フェニックスのトレーナーを紹介します。今年度からチームのトレーナーとして活躍する河瀬君は、現在学生をしながらチームのサポートをしています。昼間は学生、夕方から練習、夜は選手のケアとハードな生活ではありますが、大同特殊鋼がモットーとする文武両道をしっかりこなしているところも選手の見本となり、チームメイトからの深い信頼も得ています。

そのため、寮のケアルームは身体的な疲労を取るのももちろんの事、体の調子は悪くないのに心の癒し所として訪れる選手も少なくありません。そんな選手が来てもらって嫌がらずケアしてくれている事が選手のパフォーマンスアップに繋がっている事は間違いありません。

そして河瀬君に目標は?と聞いてみると、やはり選手と同じで日本リーグ優勝と答えてくれました。「大同は日本リーグ2連覇中ですが自分が来たら優勝はないので是非」と熱いハートを持っている一面もあります。

河瀬君のためにも残り少ないリーグ戦を全て勝ち、プレーオフでもなんとしても勝ち最高の形で優勝し、彼を胴上げしたいと選手一同団結しています。皆さん今後も選手はもちろん、河瀬君を含めた大同フェニックスの応援宜しくお願い致します。



<p>◆1月19日(土) 女子 鹿児島・霧島市国分体育館</p> <p>オムロン 33 (17-12) 29 10勝0分2敗</p> <p>3/4 0/0 吉田 石崎 0/0 6/8 佐久川 工藤 2/3 6/7 坂元 亀山 1/1 0/0 久野 高栖 0/1 7/11 洪廷昊 出雲 0/0</p> <p><0/2> K 藤間 飛田 K <1/3> 0/0 城内 師田 0/0 2/9 東濱 寺田 1/2 3/9 藤井 東 1/1</p> <p>3/4 30/50 11 (FPP) 10 26/46 3/3 審判(池淵・檜崎) 観客 740人</p>	<p>◆1月20日(日) 男子 愛知・ブラザー工業体育館</p> <p>大崎電気 42 (20-17) 28 12勝0分2敗</p> <p>0/1 4/6 豊田 岩田 0/0 1/1 3/3 前田 高野 0/0 2/3 中川 坂口 1/2 3/5 岩本 栗崎 6/8 1/1 2/4 森本 小 0/0 0/1 4/6 太田 多和田 1/5 0/1 酒井 佐藤 K K 濱口 澤田 0/0 3/5 岩永 出會 0/0 2/3 東俊介 稲本 K <1/3> <1/2> K 石原 光増 2/13 4/6 内田 上 2/3 1/1 6/8 猪妻 福田 5/12 7/13 宮崎 山口 10/16</p> <p>2/3 40/63 11 (FPP) 13 27/59 1/2 審判(浅野・田中基) 観客 787人</p>	<p>◆1月20日(日) 女子 愛知・ブラザー工業体育館</p> <p>三重バレー 20 (9-9) 16 3勝1分8敗</p> <p>3/7 横川 近藤 K <1/2> 3/4 桂 佐藤 2/11 1/3 0/0 石黒 宮田 3/5 2/9 宮下 菅谷奈 2/5 2/3 0/0 菊池 高橋知 0/0 2/8 谷口 本澤 1/10 1/1 0/0 北村 高橋玲 0/0 1/2 2/4 伏見 家城 K 4/4 野中 秋山 2/5 <2/5> K 毛利 水野 2/6 3/4 星野 菅谷枝 0/0 0/0 小川 徳永 K 0/0 吉澤 藤島 0/0</p> <p>1/2 19/40 15 (FPP) 6 12/44 4/7 審判(青木・根来) 観客 652人</p>
---	--	--

Team Topics

豊田合成 Blue Falcon



ハーフタイムのアトラクションにご注目!

試合ハーフタイム、MCの「皆さん準備はできていますか。それでは1・2・3 スタート」の掛け声とともにコート中央のファルコン君フラッグに向けて観客席から紙ヒコーキが乱れ飛ぶ。

豊田合成ブルーファルコンのホームコート稲沢市総合体育館の風物詩です。

サポーター(観客)がハンドボールを観戦するだけではなく全員参加で楽しむことができないかと考え、豊田合成ブルーファルコンがJHLに参戦した第25回大会より実施されてきました。

紙ヒコーキにはチーム、選手に対する応援メッセージが書かれていてサポーターの熱いメッセージを直接選手達に伝えることができます。

そのほかにも稲沢市総合体育館ではホームチーム獲得点当てゲームも実施しておりサポーターが参加して楽しむことができます。

ぜひ、稲沢総合体育館に足を運んでいただき豊田合成ブルーファルコンを応援するとともにゲームに参加して楽しみましょう。



Team Topics

HC名古屋 HC NAGOYA



元気、感動、夢を共有しよう!

HC名古屋はリトルクラス(小学生)、ジュニアユース(中学生)、ユース(大学生)、シニア(高校生、一般)、マスターズ(40歳以上)、トップチームのカテゴリーで構成されます。幼稚園児から70歳のご高齢の方まで、生涯を通じてハンドボールを楽しめるよう現在の会員数は200名を超えています。

その運営母体は総合型地域スポーツクラブ「名古屋スポーツクラブ」で、地域のスポーツの振興を理念にスポーツでの街づくりを目指し、ハンドボールだけでなく、剣道、ママさんバレー、名古屋グランパスサッカースクール、市教育委員会主催地域ジュニアスポーツクラブなど、他種目との連携をはかり活動をしています。

その拠点となるブラザー体育館での日本リーグホームゲームは、「参加型の大会運営」を目指し、来ていただいた皆様に楽しんでい

ただけるよう、様々な試みをしています。まずは愛嬌をふりまくコアラのお出迎えに始まり、ユニマットさんの提供によるコーヒーサービス、豪華ブラザー製品があたるお楽しみ抽選会、花、苗木のバザー、ジェット風船など、家族揃って楽しいひと時を過ごしていただくよう趣向を凝らしています。

そして、何よりも皆さんにハンドボールのプレーを通じて、「元気、感動、夢」を皆さんと分かち合うために、トップチームは日夜練習に励んでいます。今年は、「真剣味、人間味、心意気」を合言葉に、ゲームで挑戦する気概や、チームの結束力を皆さんにお見せします。

是非とも体育館にお越しいただき、ハンドボールの楽しさを満喫してください。



男女個人賞レース 第14週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 末 松 誠 (大同特殊鋼)	114 点	(15試合)	1 上 町 史 織 (北 国 銀 行)	118 点	(12試合)
2 山 口 恭 裕 (トヨタ自動車)	91 点	(14試合)	2 郭 惠 静 (ソ ニ ー)	109 点	(12試合)
3 下 川 真 良 (湧 永 製 薬)	89 点	(14試合)	3 植 垣 暁 恵 (メイプルレッズ)	81 点	(12試合)
4 中 畠 嘉 之 (トヨタ紡織九州)	88 点	(14試合)	4 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	65 点	(12試合)
5 鶴 見 拓 (Honda)	80 点	(14試合)	5 横嶋 かおる (北 国 銀 行)	62 点	(12試合)
6 白 元 喆 (大同特殊鋼)	79 点	(14試合)	6 吉 田 祥 子 (オ ム ロ ン)	61 点	(12試合)
7 村 上 秀 行 (トヨタ紡織九州)	74 点	(14試合)	7 菅 谷 美 奈 (H C 名 古 屋)	56 点	(12試合)
7 岸 川 英 誉 (大同特殊鋼)	74 点	(15試合)	8 田 中 美 音 子 (ソ ニ ー)	52 点	(12試合)
9 豊 田 賢 治 (大 崎 電 気)	72 点	(12試合)	9 佐久川 ひとみ (オ ム ロ ン)	50 点	(11試合)
10 香 川 将 之 (トヨタ車体)	71 点	(13試合)	10 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	47 点	(12試合)
10 東 慶 一 (湧 永 製 薬)	71 点	(14試合)	11 藤 井 紫 緒 (オ ム ロ ン)	45 点	(10試合)
12 猪 妻 正 活 (大 崎 電 気)	69 点	(13試合)	11 長 野 か づ さ (ソ ニ ー)	45 点	(12試合)
12 宮 崎 大 輔 (大 崎 電 気)	69 点	(14試合)	13 坂 元 智 子 (オ ム ロ ン)	43 点	(12試合)
14 呉 相 民 (トヨタ紡織九州)	68 点	(13試合)	13 伊 藤 亜 衣 美 (バイオレットアイリス)	43 点	(9試合)
15 阪 昭 博 (トヨタ紡織九州)	65 点	(14試合)	15 水 野 恵 子 (オ ム ロ ン)	40 点	(12試合)
			15 東 濱 裕 子 (オ ム ロ ン)	40 点	(12試合)

フィールド得点賞

1 末 松 誠 (大同特殊鋼)	102 点	(15試合)	1 郭 惠 静 (ソ ニ ー)	92 点	(12試合)
2 下 川 真 良 (湧 永 製 薬)	89 点	(14試合)	2 上 町 史 織 (北 国 銀 行)	75 点	(12試合)
3 中 畠 嘉 之 (トヨタ紡織九州)	88 点	(14試合)	3 横嶋 かおる (北 国 銀 行)	62 点	(12試合)
4 山 口 恭 裕 (トヨタ自動車)	84 点	(14試合)	3 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	62 点	(12試合)
5 鶴 見 拓 (Honda)	80 点	(14試合)	5 佐久川 ひとみ (オ ム ロ ン)	49 点	(11試合)
6 村 上 秀 行 (トヨタ紡織九州)	74 点	(14試合)	6 菅 谷 美 奈 (H C 名 古 屋)	46 点	(12試合)
7 宮 崎 大 輔 (大 崎 電 気)	69 点	(14試合)	7 長 野 か づ さ (ソ ニ ー)	45 点	(12試合)
8 白 元 喆 (大同特殊鋼)	66 点	(14試合)	7 植 垣 暁 恵 (メイプルレッズ)	45 点	(12試合)
9 阪 昭 博 (トヨタ紡織九州)	65 点	(14試合)	9 田 中 美 音 子 (ソ ニ ー)	44 点	(12試合)
9 岸 川 英 誉 (大同特殊鋼)	65 点	(15試合)	10 坂 元 智 子 (オ ム ロ ン)	43 点	(12試合)
			10 伊 藤 亜 衣 美 (バイオレットアイリス)	43 点	(9試合)

シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 阪 昭 博 (トヨタ紡織九州)	65点/ 80射 0.813	1 横嶋 かおる (北 国 銀 行)	62点/ 82射 0.756
2 村 上 秀 行 (トヨタ紡織九州)	74点/108射 0.685	2 佐久川 ひとみ (オ ム ロ ン)	49点/ 72射 0.681
3 下 川 真 良 (湧 永 製 薬)	89点/131射 0.679	3 坂 元 智 子 (オ ム ロ ン)	43点/ 64射 0.672
4 岸 川 英 誉 (大同特殊鋼)	65点/104射 0.625	4 上 町 史 織 (北 国 銀 行)	75点/ 120射 0.625
5 鶴 見 拓 (Honda)	80点/142射 0.563	5 郭 惠 静 (ソ ニ ー)	92点/ 171射 0.538

7mスロー得点賞

1 香 川 将 之 (トヨタ車体)	36 点	(13試合)	1 吉 田 祥 子 (オ ム ロ ン)	46 点	(12試合)
2 山 原 佑 太 (北 陸 電 力)	18 点	(14試合)	2 上 町 史 織 (北 国 銀 行)	43 点	(12試合)
3 渡久山 慶一 (豊 田 合 成)	17 点	(12試合)	3 植 垣 暁 恵 (メイプルレッズ)	36 点	(12試合)
4 東 慶 一 (湧 永 製 薬)	16 点	(14試合)	4 伏見 麻美子 (バイオレットアイリス)	25 点	(12試合)
5 柳 本 義 文 (Honda)	15 点	(12試合)	5 郭 惠 静 (ソ ニ ー)	17 点	(12試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 安 藤 功 規 (北 陸 電 力)	10本/ 21射 0.476	1 飛 田 季 実 子 (ソ ニ ー)	11本/ 27射 0.407
2 木 下 国 大 (トヨタ車体)	8本/ 19射 0.421	2 田 代 ひろみ (北 国 銀 行)	11本/ 29射 0.379
3 松 野 雅 崇 (トヨタ紡織九州)	10本/ 29射 0.345	3 木 澤 尚 子 (北 国 銀 行)	8本/ 23射 0.348
4 濱 口 靖 (大 崎 電 気)	8本/ 27射 0.296	4 高 森 妙 子 (メイプルレッズ)	14本/ 44射 0.318
5 西 田 豊 三 (北 陸 電 力)	5本/ 17射 0.294	5 森 田 由 美 (バイオレットアイリス)	5本/ 18射 0.278

第 32 回 日 本 ハ ン ド ボ ー ル リ ー グ 成 績 表

第14週終了 1月20日

順位	男 子	大 同 特殊鋼	大崎電気	湧永製菓	トヨタ 紡織九州	トヨタ 車 体	Honda	北陸電力	トヨタ 自 動 車	豊田合成	試合 数	勝 数	引 分 数	敗 数	勝 点	総 得 点	総 失 点	差
1	大 同 特 殊 鋼		29 34 ● ○ 33 32	31 25 △ ● 31 29	32 37 ○ ○ 31 33	41 35 ○ ○ 31 33	32 ○ 25	36 33 ○ ○ 27 17	39 41 ○ ○ 21 19	46 35 ○ ○ 25 30	15	12	1	2	25	526	417	109
2	大 崎 電 気	33 32 ○ ● 29 34		39 ○ 27	39 36 ○ ○ 27 32	40 35 ○ ○ 34 32	31 27 ○ ● 23 31	36 ○ 28	43 42 ○ ○ 21 28	38 46 ○ ○ 24 25	14	12	0	2	24	517	395	122
3	湧 永 製 菓	31 29 △ ○ 31 25	27 ● 39		29 35 △ ○ 29 29	31 39 ○ ○ 28 35	32 33 ○ ○ 23 27	29 40 ○ ○ 9 22	45 40 ○ ○ 16 22	38 ○ 21	14	11	2	1	24	478	356	122
4	トヨタ紡織九州	31 33 ● ● 32 37	27 32 ● ● 39 36	29 29 △ ● 29 35		25 ● 31	32 36 ○ ○ 25 34	35 25 ○ △ 23 25	43 39 ○ ○ 22 29	39 ○ 32	14	6	2	6	14	455	429	26
5	トヨタ車体	31 33 ● ● 41 35	34 32 ● ● 40 35	28 35 ● ● 31 39	31 ○ 25		25 28 △ ○ 25 27	35 ● 36	37 35 ○ ○ 17 24	34 43 ○ ○ 27 23	14	6	1	7	13	461	425	36
6	H o n d a	25 ● 32	23 31 ● ○ 31 27	23 27 ● ● 32 33	25 34 ● ● 32 36	25 27 △ ● 25 28		28 28 ○ ○ 21 21	32 ○ 24	35 38 ○ ○ 24 29	14	6	1	7	13	401	395	6
7	北 陸 電 力	27 17 ● ● 36 33	28 ● 36	9 22 ● ● 29 40	23 25 ● △ 35 25	36 ○ 35	21 21 ● ● 28 28		33 26 ○ ○ 14 25	29 28 ○ ○ 27 23	14	5	1	8	11	345	414	-69
8	トヨタ自動車	21 19 ● ● 39 41	21 28 ● ● 43 42	16 22 ● ● 45 40	22 29 ● ● 43 39	17 24 ● ● 37 35	24 ● 32	14 25 ● ● 33 26		29 ○ 21	14	1	0	13	2	311	516	-205
9	豊 田 合 成	25 30 ● ● 46 35	24 25 ● ● 38 46	21 ● 38	32 ● 39	27 23 ● ● 34 43	24 29 ● ● 35 38	27 23 ● ● 29 28	21 ● 29		13	0	0	13	0	331	478	-147

順位	女 子	オムロン	ソニーセミコン ダクタ九州	北国銀行	広島メイプル レッズ*	三重ハイオ レットアイリス	HC名古屋	試合 数	勝 数	引 分 数	敗 数	勝 点	総 得 点	総 失 点	差
1	オ ム ロ ン		25 29 33 ○ ● ○ 24 37 29	35 20 ○ ● 27 29	36 29 26 ○ ○ ○ 34 25 24	31 27 ○ ○ 15 13	31 29 ○ ○ 12 20	12	10	0	2	20	351	289	62
2	ソニーセミコンダクタ九州	24 37 29 ● ○ ● 25 29 33		22 27 ○ ○ 21 26	29 27 ● ○ 32 25	28 33 ○ ○ 25 23	46 35 34 ○ ○ ○ 18 14 16	12	9	0	3	18	371	287	84
3	北 国 銀 行	27 29 ● ○ 35 20	21 26 ● ● 22 27		27 27 40 ○ ○ ○ 26 22 20	31 30 24 ○ ○ ○ 23 15 17	34 32 ○ ○ 18 12	12	9	0	3	18	348	257	91
4	広島メイプルレッズ*	34 25 24 ● ● ● 36 29 26	32 25 ○ ● 29 27	26 22 20 ● ● ● 27 27 40		24 33 △ ○ 24 30	33 29 ○ ○ 15 26	12	4	1	7	9	327	336	-9
5	三重ハイオレットアイリス	15 13 ● ● 31 27	25 23 ● ● 28 33	23 15 17 ● ● ● 31 30 24	24 30 △ ● 24 33		27 25 20 ○ ○ ○ 20 16 16	12	3	1	8	7	257	313	-56
6	H C 名 古 屋	12 20 ● ● 31 29	18 14 16 ● ● ● 46 35 34	18 12 ● ● 34 32	15 26 ● ● 33 29	20 16 16 ● ● ● 27 25 20		12	0	0	12	0	203	375	-172

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。